

第59回理事会・第31回評議員会 報告書

(財) おかやま環境ネットワーク

○日時：2011年4月16日(土) 10:00~12:05

○出席：理事会=15名(内委任7名)、評議員会=13名(内委任4名)、監事=2名

○議長：理事会=青山、評議員会=伊藤 ○議事録署名人：理事会=榊、花口、評議員会=田中敦子、平田まき子
〔報告事項〕

1. 事業報告など以下の報告がありました。

- ①. 運営委員会報告：2011年度のネットワークのつどい(維持会員総会)、環境講座、エコファミリー講座の開催概要や「主催・共催・協賛・後援等に関する規程(案)」について検討し、3事業の後援を確認しました。新公益法人制度の対応については、理事会は従来通り2ヵ月に1度開催することや、運営委員会は理事会の諮問機関と位置づけ必要に応じて開催すること、維持会員の規定を定款に追記することなどを確認しました。
- ②. 自然環境部会報告：「第2回おかやま環境シンポジウム」の振り返りと、第3回シンポジウムについて検討し、川をテーマにすることを確認しました。
- ③. 第2回おかやま環境シンポジウム開催報告：森林をテーマに県内の環境活動のネットワークを促進させることを目的に開催し、61名の参加がありました。
- ④. 助成部会報告：10年間の助成事業をまとめた「助成活動報告集」の編集作業と、ネットワークのつどい(維持会員総会)の開催要項について検討しました。
- ⑤. 環境家計簿委員会報告：環境家計簿レポートの編集作業をすすめ、今後の環境家計簿カレンダー・環境家計簿レポート作成について協議しました。
- ⑥. 2010年度環境講座開催報告：参加を増やすため改善をすすめ、昨年の2.5倍、過去最多の参加がありました。
- ⑦. 後援依頼について：「錦海湾の未来を考えるシンポジウム」「海底ゴミ回収底曳き網体験学習」「全国ホテル研究大会」の後援について、理事長、専務理事確認のもと承認したことが報告されました。
- ⑧. 諸報告：2011年度主要日程、事務所をオルガ5階から6階に移転すること、事務局職員が12月で定年退職することが報告されました。

〔協議・承認事項〕

1. 2010年度決算、会費納入状況、監査結果について

年度末決算状況として、当期収入は共催や補助金等の申請を積極的にすすめ、予算比111.7%、前年比102.0%となりました。事業費は全事業への総参加人数は過去最多でしたが、運営の見直しなどにより予算比70.3%、前年比111.9%(前年超過の要因は新規出版事業によるもの)、管理費は予算比91.1%、前年比88.4%と共にコントロールでき、その結果、当期収支は65万円の黒字となり健全な運営が図れています。総資産は1億1,533万円となりました。

年度末会費納入状況は、個人103、団体54、法人58、合計215会員となりました。今年度24会員の入会がありましたが景気動向等による38会員の退会があり、昨年より14会員減少しました。

決算および財産目録は、原案通り出席理事全員で可決し、出席評議員全員の同意が得られました。

監事より、年度末監査の結果、適法かつ正確である旨の報告があり承認されました。また、衣笠基金を別立てで管理していましたが、新公益法人制度対応等により口座を1本化して管理するよう指摘があり、決算書を修正しました。

2. 「主催・共催・協賛・後援等に関する規程」が承認されました。
3. 新公益法人制度への対応に関して、「評議員選定委員会規則」が承認されました。また、「主要項目の方向性」「定款」案について検討し、現状の案が承認されました。
4. 2011年度ネットワークのつどい(維持会員総会)開催要項が承認されました。
5. 2011年度環境講座開催要項が承認されました。「土壌」の講師の後任を理事長との相談のもと人選します。
6. 2011年度エコファミリー講座開催要項が承認されました。
7. エコポイント寄附を活用してホームページの改良をすすめることが承認されました。
8. 第10回維持会員総会資料の概要を承認し、修正等あれば4月19日までに事務局へ連絡することを確認しました。また、この度の震災を受けおかやま環境ネットワークとして、暮らしの中のエネルギー問題や、ライフスタイルのあり方などについてその重要性を踏まえ、今後より一層の取り組みをすすめていくことを事業計画の末尾に加えることと、学習会などの具体化を運営委員会で検討していくことを確認しました。

以上